

# 受療者医療保険学術連合会



受保連

## Q1 「受療者」とは？

「受療とは、診療を受けること」で、  
「受療者」とは、「診療を受ける者」即ち患者です。  
本会が「患者」とせず、敢えて「受療者」としたのは、  
医療を受ける患者のみならず、  
その治療生活を支える家族を含めること、  
また、治療を受ける可能性のある国民を含めて、  
医療保険を中心とした、今後の日本の医療について  
理解を深め、議論し意見を発信することを  
意味して「受療者」としています。

受保連



2

## Q2 「受保連」とは？

受療者が医療者と共に、医療経済を議論する「受け皿」  
となり、国民皆保険制度の堅持・発展を前提に  
相互に問題意識を共有・理解しながら、  
目線の一つにして、あるべき医療保険等の姿を  
探求します。

本会の検討・議論の積み上げにより、  
将来にわたって、国民一人ひとりの安心・安全の  
医療・医療制度に繋げていきます。

受保連



3

## Q3 会の目的は？

受療者と医療者の立場を越えて、医療経済に関わる問題  
について「学術的な議論」を行い、  
現在の問題点また目指すべき日本の医療の在り方  
についての認識を共有すること、  
その成果を基に広く国民の健康・福祉の増進に  
繋げることを目的に活動を行います。



受保連



4

## Q4 どのような活動を行いますか？

1. 受療者（患者及び家族）自身が、現在の医療保険制度や医療経済について理解を深めるための勉強会等の開催
2. 個々の医療について、その価値を学術的に「見える化」するための研究活動
3. 受療者、国民全体の医療に関する「受益と負担」について研究し、その成果を社会に発信する取組

受保連



5

## Q5 会の構成は？

設立時、がん・心臓・腎臓・アレルギー・呼吸器  
神経、脊椎、眼疾患等々、25の患者団体が、  
医療者として各領域から約30名が  
参加し構成しています。



受保連

6